

生徒指導栄養

～ 生徒指導を進めるための栄養源に ～



#8 【子どものつらい思いに寄り添った数】

先生方は、次のような事例を「いじめ」として認知しますか？

【事例】AさんはBさんに「もっと友達と積極的に話した方がいいよ。」と助言をしたつもりだったが、対人関係に悩んでいたBさんは、その言葉で深く傷ついた。

このような事例も、児童生徒の心の傷付きに注目して、「いじめ」として認知することになります。しかし、「いじめ」という言葉に引っ張られ、認知することに抵抗感もあるのではないかと思います。

そこで紹介したいのが、岡山県教育委員会が作成した「いじめ対策の『い・ろ・は』」。この資料では、「いじめの認知件数 = 子どものつらい思いに寄り添った数」と示されています。

いじめを認知できたことは「寄り添い」の第一歩であると考え、認知することへの抵抗が小さくなるのではないのでしょうか。

【参考】「いじめ対策の『い・ろ・は』」（岡山県教育委員会）



令和5年11月24日（金）

呉市教育委員会 学校安全課 生徒指導グループ

